

JIS

マンガン鉱石－分析方法通則

JIS M 8203 : 2017

(JFA/JSA)

平成 29 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	相 浦 直	一般社団法人軽金属溶接協会
	栗飯原 周二	東京大学
	一 谷 隆	高圧ガス保安協会
	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (デンカ株式会社)
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会 (三菱自動車工業株式会社)
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	山 崎 裕 一	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社銭高組)
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 44.9.1 改正：平成 29.2.20

官 報 公 示：平成 29.2.20

原 案 作 成 者：日本フェロアロイ協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-5645-7181)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般事項	3
4.1 共通一般事項	3
4.2 個別一般事項	3
5 成分試験試料の採取, 調製及び取扱い	3
5.1 成分試験試料の採取, 調製及び保管	3
5.2 成分試験試料のはかりとり	4
6 分析値のまとめ方	4
6.1 空試験	4
6.2 分析回数	4
6.3 分析値の採択	4
6.4 分析値の表示	4
7 許容差の取扱い方	5
7.1 許容差	5
7.2 分析値の精確さの検討	5
7.3 許容差が規定されていない場合の取扱い方	6
7.4 許容差の判定方法	6
8 定量値の計量計測トレーサビリティ	7
9 マンガン鉱石分析方法規格群の規格の様式	7
附属書 JA (規定) 成分試験試料中の吸湿水分定量方法	8
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本フェロアロイ協会（JFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS M 8203:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

マンガン鉱石—分析方法通則

Manganese ores—General rules for chemical analysis

序文

この規格は、1978年に第1版として発行されたISO 4297を基とし、日本の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、マンガン鉱石の各成分の定量方法を規定したJIS（以下、マンガン鉱石分析方法規格群という。）におけるマンガン鉱石の分析方法に関する一般的な事項について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 4297:1978, Manganese ores and concentrates — Methods of chemical analysis — General instructions (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 1301 フェロアロイ—分析方法通則
- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0113 電位差・電流・電量・カールフィッシャー滴定方法通則
- JIS K 0115 吸光光度分析通則
- JIS K 0116 発光分光分析通則
- JIS K 0117 赤外分光分析方法通則
- JIS K 0121 原子吸光分析通則
- JIS K 0211 分析化学用語（基礎部門）
- JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水
- JIS K 8001 試薬試験方法通則
- JIS M 8108 クロム鉱石、マンガン鉱石及び鉄マンガン鉱石—サンプリング方法、試料調製方法及び水分・粒度測定方法
- JIS R 3505 ガラス製体積計